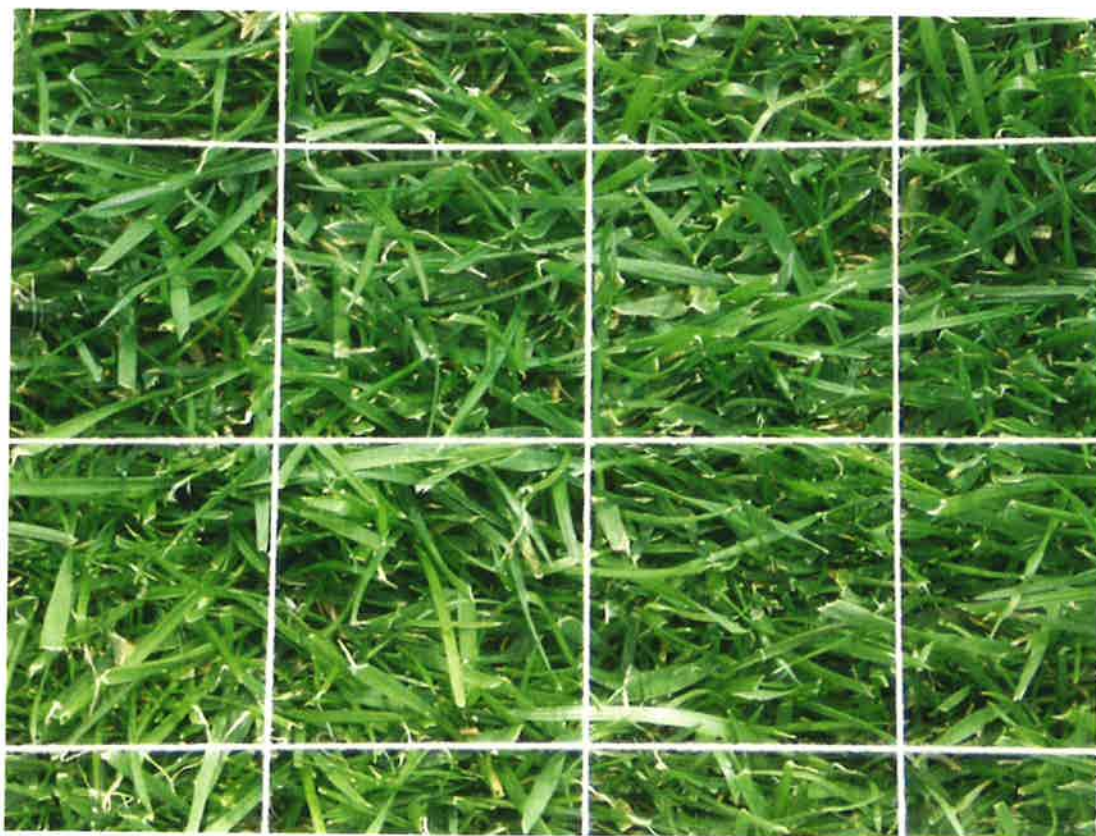


普及資料

ウィンターオーバーシード専用品種

# フェアウェイⅡ

- 従来のオーバーシード専用品種「フェアウェイ」の特性をさらに改良！
- 発芽揃いが良好で、ターフの形成が早い！！
- 春期の衰退が早く、トランジッションが容易！！
- 最も使いやすいオーバーシード専用のアニュアルライグラス！！！！



## 《フェアウェイⅡの品種特性》

発芽および初期生育が良いため、ターフの形成が早く、また5月上旬以降の密度の低下が速やかで、ベース芝へのランジッションが容易なアニュアルライグラスです。その他の特性は、従来の「フェアウェイ」と同等以上の特性を有しています。

- 1) トランジッション性：春季のランジッションは、「フェアウェイ」より緩やかに進みますが、ランジッションの進み具合は「フェアウェイ」と同様に良好です。
- 2) 初期生育：発芽および初期生育は極めて旺盛です。また低温発芽性も高く、ウィンターオーバーシードに最適です。
- 3) 密度：冬季の密度は「フェアウェイ」と同程度に高く、また4月以降の密度の衰退が速やかで、ベース芝へのランジッションが良好に進みます。
- 4) 芝質：「フェアウェイ」と同様に、やや粗い芝質を示します。
- 5) 葉色：「フェアウェイ」と同程度に明るい緑色を呈します。
- 6) 葉幅：葉幅は「フェアウェイ」と同程度にやや広めです。

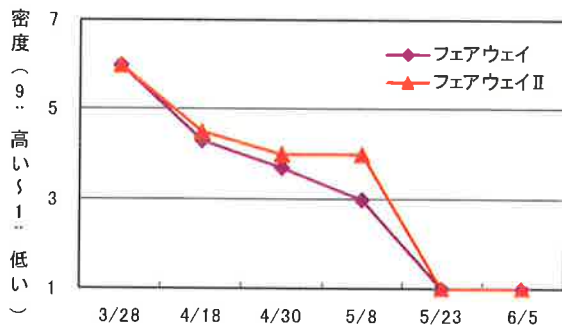


図-1 密度の比較  
2007年播種試験 (千葉県)

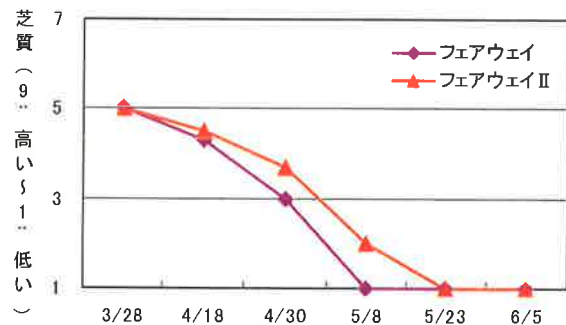


図-2 芝質の比較  
2007年播種試験 (千葉県)

## 《適応地域および利用用途》

関東以西の温暖地の気候に適します。野芝や高麗芝、バミューダグラスおよびティフトンシバが採用されているゴルフ場やサッカー場などのスポーツターフにおけるウィンターオーバーシードに利用できます。また校庭芝生化、パークゴルフ場、家庭の芝などにも利用できます。

## 《さらに良好にランジッションさせるために》

ベース芝の萌芽1ヶ月前に追肥を停止し、ベース芝の萌芽を確認次第、低刈りを行います。ベース芝の生育が始まったら、追肥を再開しますが、散水は極力避けることが栽培のポイントです。

1. 作物名 アニユアルライグラス
2. 販売名称 フェアウェイⅡ
3. 背景

当社では温暖地向けのウィンターオーバーシード用アニユアルライグラスの主力品種として『フェアウェイ』を販売しているが、販売開始から15年以上が経過している。現在までフェアウェイを採用してきた現場でも、新しい品種を試したい希望が増えており、他社品種に切り替えられる危険性が増しており、新品种の投入により、既存納品先の取引継続と新規需要を喚起することが期待されていた。

また、フェアウェイはオーストラリア産であるが、最近の異常気象の連続で、オーストラリア産のフェアウェイ種子の品質面、数量面での安定確保が困難になってきていた。

『フェアウェイⅡ』は、発芽および初期生育が良いためターフの形成が早く、かつ5月上旬以降の密度の低下が速やかで、ベース芝へのランジッションが容易なアニユアルライグラスであり、フェアウェイと同等以上の特性を有している。また、種子はアメリカ産で安定的かつ品質の良い種子の供給が見込まれる。

#### 4. 選抜・試験経過

- ①2006年：千葉研究農場 品種比較試験（2006～2007年）
- ②2007年：千葉研究農場 品種比較試験（2007～2008年）

#### 5. 主要特性及びPRポイント

フェアウェイと同様に発芽揃いが良く、ターフ形成が早い。また、5月上旬以降の密度の低下が速やかで、ランジッションが容易である。その他の特性はフェアウェイと同等以上のレベル。

#### 6. 品種特性

- 1) ランジッション性：春季のランジッションは、フェアウェイより緩やかに進むが、フェアウェイと同様に良好にランジッションが進行する。
- 2) 初期生育：発芽および初期生育は極めて旺盛で、優れる。
- 3) 密度：耐暑性品種であるペレニアルライグラス アメージングより劣るが、フェアウェイと同程度。4月以降の密度の衰退が速やかである。
- 4) 芝質：フェアウェイと同様にやや粗い。
- 5) 葉色：フェアウェイと同程度で淡い。
- 6) 葉幅：フェアウェイと同程度でやや広い。

#### 7. 適応地域および用途

関東以西の温暖地に適し、野芝や高麗芝、バミューダグラスおよびティフトンシバが採用されているゴルフ場やサッカー場などのスポーツターフにおけるウィンターオーバーシード専用品種として利用。今後、需要が増えると見込まれる校庭芝生化、パークゴルフ場、家庭の芝への利用も期待できる。